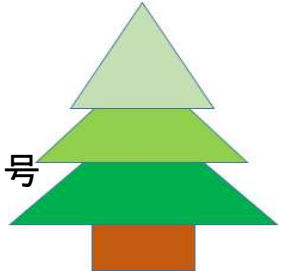




嵯峨宮頼り

第 26 号



嵯峨宮：群馬県みどり市大間々町小平 348 番地

<http://www17.plala.or.jp/sagagu/>

発行日：2022 年 11 月 15 日

発行：嵯峨宮世話人会

嵯峨宮「埋蔵祈願式」
十二月十八日（日）
に実施します。

今回で埋蔵祈願も第五回目を迎えます。今年も皆様の祈願書を受付け、埋蔵祈願致します。小平地区は世話人が祈願書の配布・受付を例年通り行います。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でお馴染みの衣装直垂（ひたたれ）や山伏、鎧兜の姿で、武士七名が小平公民館から神社裏山まで武者行列を行い、「埋蔵祈願式」に臨みます。

「嵯峨宮頼り」は嵯峨宮を通じての情報を地域の皆様にご提供しています。バックナンバーは首記URLのホームページから見られます。神社境内の掲示板でも見られます。御相談は世話人会迄連絡下さい。

ので御利用下さい。



埋蔵祈願式日時

十二月十八日（日）十一時

（但し雨天・雪天は延期）

祈願料 千円

受付締切 十二月十六日

尚新型コロナウイルス感染症の感染が再び増加傾向にあります。見学に際してはマスクを着用し、密を避け、静かに見て頂く様お願い致します。駐車場・トイレは小平の里を御利用下さい。

又絵馬・御朱印（ご希望の方は十二月十六日迄にお申込下さい）。

今年も幣束 取扱います

嵯峨宮では今年も幣束を取扱います。ご希望の方は、世話人が大麻頒布（お札の注文に伺うとき一緒に）お申し込み下さい。

価格 180円



QRコードでホームページに接続します

十年ひと昔

と言うが、ふた昔前ホームページを開設するとURLを名刺やカタログ、紙袋、Tシャツなどに



<http://www.sagaku.com>

と印刷するのが格好いと流行った。今はQRコード（二次元バーコード）表示が主流となりつつある。URLはパソコン主流

報告

秋季大祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため祭事は中止しましたが、疫病退散祈願の「神事」と護符配布を実施し終了しました。

の時代にキーボードから文字入力して接続した。今はスマホの時代、カメラを向ければ自動で二次元バーコードを読み取り接続してくれる。楽だし、入力ミスもなく大変便利でユーザーチューブなどの動画も文字を一切見ず触らず接続できる。キャッシュレスなど極めて便利に应用される反面、セキュリティにも注意し悪用されない対応が必要である。

今月の嵯峨宮頼り26号から嵯峨宮ホームページのURLをQRコードと併記した。スマホをお持ちの方は是非カメラを向け試して欲しい。そして過去の嵯峨宮頼りをもう一度見て頂きたい。

元福岡東小学校の庭
土砂で埋まる
〜集中豪雨で〜

昨年岩穴観音堂の建物が台風で倒れた大木により破壊されたという「頼り24号」で報告した。そして今年八月末の集中豪雨では岩穴観音堂隣の元福岡東小学校校庭の半分以上が沢から流れ出た一〜二メートルの土砂で埋まった。



案内板も回転格納箱もホースも格納箱もわすれずに上に部を出して土石流に埋もれている。八十一年以上生きて

きて、もつと雨が降ったり風が吹いたこともあるが、こんなことはなかった。雨風だけじゃ考えられね。」と古老はつぶやく。戦時中は山の本を伐りつくし、禿山となつて終戦直後水害が多発した。その教訓で戦後植林に励み、今山は杉も大きくなった。しかし材価が低迷し山の手入れがされなくなつた。或いは採石や太陽光発電に転用された処もあるなど、山は昔とは全く異なる状況になつた処もあり、想定外のことが発生してもおかしくない、と。今まで大丈夫だったから今後も大丈夫という論理は成り立たない。ハインリッヒの法則に照らせば、むしろこれは予兆と捉え、同様な環境変化の有る処は同様な、否それ以上の事態も発生し得ると捉え、対策の一つでも多くしておくことだろう。ただ既に個人が対処できる段階を超えていると感じる。

神社周りの樹木
一部伐採に着手

岩穴観音堂の風倒木災害を見て、嵯峨宮周辺の樹木も見直し一部伐採に着手した。二十年以上手が入らないと見え、杉や檜、樺（けやき）、竹、椿等が生い茂る。社殿裏の山を切り崩した上には大きくなった杉が根を崩した斜面に剥き出しで、危うく、倒れたら社殿は一溜りもない。業者に依頼する余裕はないので世話人会員がお茶とオムスビで奉仕する。手始めは直径50cmはある檜の木から。ワイヤで山側に引つ張りチェーンソーで伐り、クサビを打ち込む。ブチツ！、あッ！

ワイヤが切れ檜の大木の枝が社殿の横の赤石稲荷と語らざるの看板を直撃、半壊した。幸い人は退避して怪我もなく、社殿への被害もなかった。伐倒者は林業研究会員でそれなりの

スキルも経験も有しているが、それでも事故は起きる。しかし安全対策をしつかりすれば最小の被害で済む。これも貴重な教訓として、以後より慎重に伐採を続けている。この日はこ



れ一薄片づけるだけで丸一日が終わつた。赤石家の方には即連絡し見て頂き謝罪した。「奉仕中の事故、仕方ない。怪我がなくてよかつた。」と言つてくれた。壊れた稲荷は伐採終了後に会員の手で時間は掛かつても修復するつもりだ。

心の用心 火の用心

十一月九日から秋の全国火災予防運動が始まっ

たが、その前々日の七日深夜午前一時前に小平の高齢独居老人宅から出火、家は全焼した。幸い周囲の山や隣家に延焼することなく、又住人も怪我することなく鎮火した。原因は住人に定かな記憶がなくはつきりしないが屋内からの出火とみられる。人は誰でもうっかりミスをする。電気ガス石油等の熱器具は必ず安全装置付に交換することだ。人は誰も老いる。身体の変化は自分で痛みや不都合を感じれば治療出来るが、心の変化は他人の方が気付き易い。自分で自分の顔は見えないから顔つきの微妙な変化に気付き難い。更に不安や心配を減らす正常性バイアスが働くから猶更だ。若い頃よく鏡を見、顔を見つめた。今はチラ見、見ない日もある。ドキッとしても心の用心火の用心、卓に鏡を置こう。（阿直）